

退院支援の業務改善マッチングサービス「退院支援ナビ」について

“Hospital Discharge Support Navi” – Discharge from Hospital Support Business Improvement Matching Service

高丸 慶 Kei Takamaru

デジタルハリウッド大学大学院 修士

趣旨と背景

病院に勤務しており訪問看護事業所を探している「MSW（メディカルソーシャルワーカー）」等と実際の訪問看護サービスを提供する「訪問看護ステーション」をWeb上でマッチングするシステムである。このシステムの背景と意義は、「病床から在宅へ」という国の施策に沿って必要とされている退院支援業務を円滑にし、多くの利用者様が在宅においても必要とされる水準の医療や看取りサービスを受けることのできる社会を実現することである。

市場動向として、高齢者を対象とした介護予防・生活支援サービスの市場規模は2014年に6800億円の見通しで、団塊の世代が75歳を迎える2025年には1兆3000億円に迫るとの予測がされている。また弊社も訪問看護ステーションとして約8年間訪問看護を行ってきたため、退院調整時に病院と訪問看護ステーション、入院から退院へと移行する本人・家族の3者それぞれの課題やニーズを肌で実感していたことが開発のきっかけとなった。特に、訪問看護事業者として、MSWから電話での退院調整の依頼が来た際に都合が合わず、退院調整の依頼がたらい回しにされ、ご本人の退院が遅れてしまうという現状の課題を感じたからである。

課題解決策

事業の新規性と独創性は、従来、電話とFAXでやり取りされていたMSWと訪問看護ステーションの調整をWebサービスによって代替し、簡単に適切なマッチングが行われることによってMSWと訪問看護ステーションの両者の退院支援における業務の負担が大きく軽減される。

特長

優位性は、明確な競争がまだ存在せず、大手企業の参入に備えてビジネスモデル特許を取得することで他社による弊社モデルの類似展開を防止することができ、このモデルを排他的なものにすることができる。また取締役に医師会の方がいるため、自治体との連携等も円滑に行うことができること、既に訪問看護ステーション100社とMSWからの案件を共有する連携関係を築くことができている点である。

今後の展開

・事業の最終目標（成果物）

本Webサービスに訪問看護ステーション数が1年以内に500カ所、2020年には3,500カ所加入することで、次の2つが実現されている。

1. 退院調整にかかるMSWや退院調整看護師および訪問看護ステーション従事者の業務コスト削減
2. 入院患者の退院調整率の増加

・最終目標に到達するために行う事業

1. 直近1年以内に1都3県を中心とした地域にWeb/非Webによる営業、マーケティングを実施し、加入している訪問看護ステーション数を500カ所程度に増大する。
2. 退院調整を実施する際に提供するサービスの主流となる「保険外サービス」を実施する際の訪問看護ステーションのリスクを軽減する為、共済もしくは損害保険を準備、提供を実施する。
3. 訪問看護サービスの提供を受ける利用者の方がサービスを受け易くなるよう、生命保険業種の企業と協業した生命保険の準備、提供を実施する。

仕様

無断転用・転載厳禁 Confidential



株式会社ホスピタリティ・ワン



Copyright © 2018 Hospitality ONE Co., Ltd. All Rights Reserved. 1

退院支援を取り巻く課題/ニーズ



入院から在宅へのシフトが加速し退院ニーズが高まる反面、退院支援を取り巻く現状と致しましては、病院（退院調整看護師/MSW など）や訪問看護ステーション、ご本人様（ご家族様）において以下のような課題やニーズが高まっております。

■ それぞれにおける課題/ニーズ

1. 病院（退院調整看護師/MSWなど）における課題/ニーズ

- 本当に治療が必要な方へ病床を提供する為/病院の収益を最大化する為に病床の回転率を上げる必要がある
- 退院後にご本人様が必要となる保険内の案件に対応できる訪問看護ステーションを簡単に手配したい

2. 訪問看護ステーションにおける課題/ニーズ

- ご本人様の多様なニーズに備え「保険外サービス」に対応し、新たな収益源を確立したい
- 多くの退院調整看護師やMSWから仕事の依頼が来る関係を持ちたい

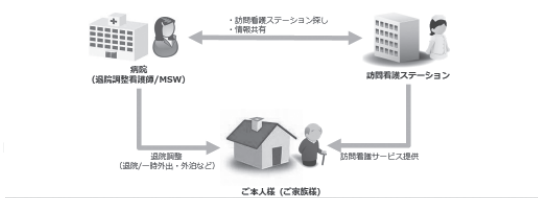
3. ご本人様（ご家族様）における課題/ニーズ

- 退院し在宅へ戻る際、どの訪問看護ステーションに依頼をすれば良いかわからない
- 今よりもっと気軽に自宅へ帰りたい
- 最後は住み慣れた自宅へ送りたい

※1. MSW：メディカルソーシャルワーカー

Copyright © 2018 Hospitality ONE Co., Ltd. All Rights Reserved. 2

現状における退院支援



現状における退院支援は、情報が不足していることもあり、病院と訪問看護ステーションの有償的/効率的な連携の実現が難しい状況にあります。そのため、ご本人様の退院（一時的外出・外泊など含む）も効率的に実現したいと多く見受けられます。

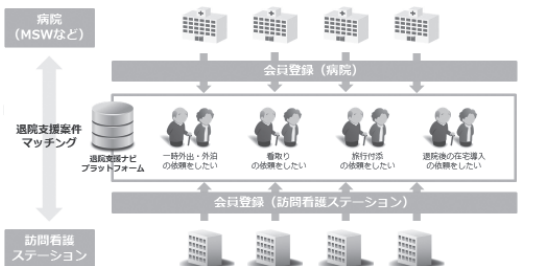
- 病院：積極的に退院を促進したいけどこの訪問看護ステーションがスムーズに受け入れて可能かわからず、FAXや電話など手間をかけて訪問看護ステーションを探している。
- 訪問看護ステーション：病院から保険外サービスの依頼を受けたいが、中小事業所にはなかなか情報が回ってこない。
- ご本人様：訪問看護ステーションがどこにあるのかわからない、もっと気軽に自宅へ帰りたい。

Copyright © 2018 Hospitality ONE Co., Ltd. All Rights Reserved. 3

「退院支援ナビ」によるマッチングの仕組み



下記のようなマッチングの仕組みをWebサービスによって、退院支援の課題やニーズを解決し、病院と訪問看護ステーションの効率的な連携の実現を目指します。



Copyright © 2018 Hospitality ONE Co., Ltd. All Rights Reserved. 4